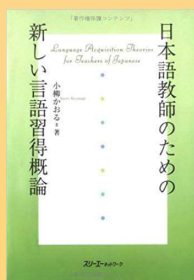


## 日本語教育学研究と学習者言語研究のクロスポイント

- ◆第二言語習得研究および日本語教育研究に取り組みたいと考えている方にむけて、「研究を進めていくうえで考えたいこと、知っておきたいこと」について、2018年12月から2019年3月まで、毎月1回を目安に様々な先生方にレクチャーをしていただきます。
- ◆イベントでは参加者の方にも積極的にご発言いただくようにしたいと思います。多くの学生さんにお越しいただけたら嬉しいです。

# 教育現場と第二言語習得研究をつなぐ —文献研究の意義： テーマ探しから教育への還元まで—



小柳かおる氏  
(上智大学)

2019年1月25日(金)16:00~17:30 (終了後茶話会あり)  
東京外国語大学留学生日本語教育センター さくらホール

### 【小柳先生からのメッセージ】

教師なら日々の授業の中から、学習者なら学習経験から、教室活動や学習者についての疑問や問題点を感じ、それを研究テーマにしようと思うかもしれません。でも、それだけでは研究課題にはなりません。文献にあたり、自分の疑問を追求する価値があるのか、ベースになる理論は存在するのかなどを調べるのが大切です。先行研究を押さえておくと、それを基に信頼性、妥当性のある研究をデザインできますし、考察の議論のツールにもなります。

また、文献研究はレビュー論文、展望論文と呼ばれる一つの論文にもなり得ます。個々の実証研究の論文には最後に教育的示唆が書かれていることが多いですが、実際には後に相反する結果が出ることもあり、全体の動向を見極める必要があります。それがレビュー論文の役割でもあります。最近では、先行研究の成果を客観的に総括するメタ分析という方法もあります。このような研究のサイクルにおける文献研究の意義を考えてみたいと思います。

参加無料 | どなたでもご参加いただけます  
東外大以外からのご参加も大歓迎です☺  
お申込みはこちらから <https://goo.gl/a iwQ76>

